

ととえあい

No.101

さえき社協だより
ボランティアセンターだより

編集・発行：平成28年(2016年) 9月1日
社会福祉法人 広島市佐伯区社会福祉協議会

〒731-5135 広島市佐伯区海老園1-4-5
佐伯区地域福祉センター(佐伯区役所別館)
TEL (082) 921-3113・FAX (082) 924-2349
E-mail : saeki@shakyohiroshima-city.or.jp

やるき・げんき・さえき・祭り

さえき福祉☆健康フェスタ2016

だれでも参加できるバリアフリーをめざして

♪ 記念講演会

演題：天気と天気予報のヒミツ
講師：NHK広島お天気キャスター 勝丸 恭子さん

健康
コーナー

ステージ
発表

遊休品
バザー

みんなでハート

わくわく
抽選会

相談
コーナー

飲食コーナー

焼きそば、カレーライス、かき氷、
うどん、アイス、ちらし寿司、
炊き込みご飯、フライドポテト、
パン、クッキー、コーヒーなど...

9月25日(日) 10:00~15:00

佐伯区地域福祉センター(佐伯区役所別館)
1階・5階・6階 及び 駐車場

福祉体験・ 福祉クイズ

視覚障がい疑似体験、点字、
要約筆記、車いす、電動車いすなど...

イラスト：竹上 美枝子さん 車いすユーザーのついで「で・あるーく」

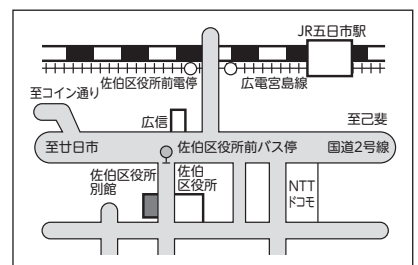
主催：社会福祉法人 広島市佐伯区社会福祉協議会

<お問い合わせ先>

広島市佐伯区社会福祉協議会 (広島市佐伯区海老園1-4-5)

☎921-3113 FAX.924-2349

駐車場に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。



平成27年度 事業報告

近年、社会的孤立等から生活困窮に陥る人が増える中、7月には、生活困窮者支援を行う「くらしサポートセンター」(受託広島市社会福祉協議会)の西部サブセンター(西区・佐伯区管轄)が本会事務所内に設けられ、くらしサポートセンターと連携して生活困窮者の支援に取り組みました。

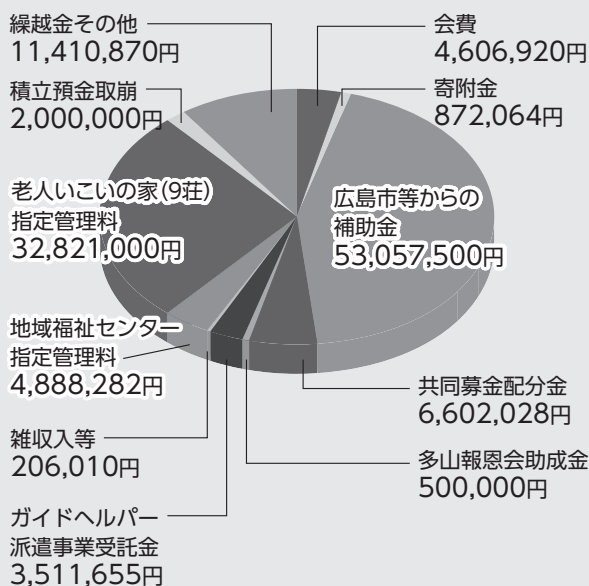
平成26年8月の広島県豪雨災害では、被災された安佐南区・安佐北区で多くのボランティアが活躍しました。佐伯区も土砂災害等発生が危惧されることから、災害NGOを招き、災害ボランティアの研修会を開催しました。

地(学)区社会福祉協議会による第2次の「福祉のまちづくりプラン」づくり、地域住民の交流の場としての「ふれあい・いきいきサロン」の開設、新たに地区社協活動拠点(事務所)の開設などを支援し、「たすけあいのまちづくり」を進めました。

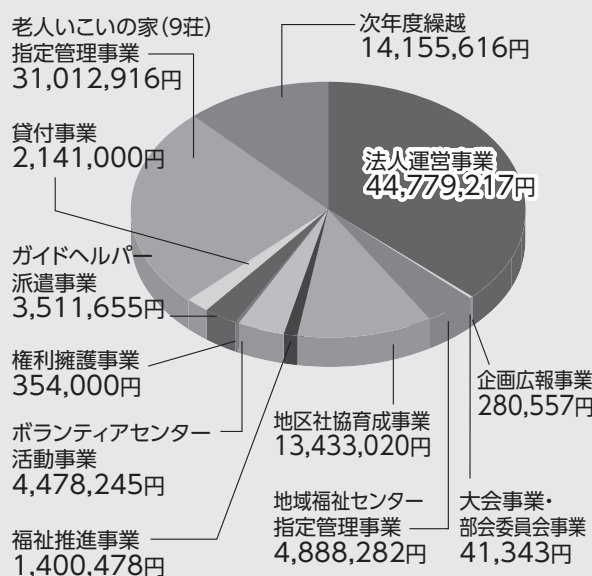
さらに、様々な虐待の防止という共通の認識を持つ、区民生児童委員協議会と連携し「いじめ・虐待110番」の取り組みを開始しました。児童・障害者・高齢者等への虐待防止に取り組むため、関係者の協力により250名の個人及び14の機関・団体に協力員としての登録を得て「いじめ・虐待のない地域づくり」に取り組みました。



平成27年度 佐伯区社協収支決算 (自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日)



【収入の部:合計 120,476,329円】



【支出の部:合計 120,476,329円】

美鈴が丘地区の高齢者などの移動手段として期待!

～巡回乗合タクシー「りんりんタクシー」の取り組み～

美鈴が丘地区は、丘陵地で坂道が多く、移動手段のない高齢者が買い物や通院などに困っていることから、平成25年11月に検討委員会を立ち上げ、巡回乗合タクシーの運行の準備を進めてきました。

美鈴が丘まちづくり協議会では、平成27年10月1日から広島市の支援を受けて、巡回乗合タクシーの実験運行を開始しました。双葉タクシーの協力のもと乗車定員8人のジャンボタクシーを使用し、毎週月～金曜日に2ルート(西・緑ルート、東・南ルート)及び美鈴が丘地区の朝市(美鈴楽市)の開催日に、一律200円の料金で運行をスタートしました。ルート上であれば、好きなところで乗降できるように工夫もされています。また、走行時に「美鈴音頭」を鳴らし車輦が近づいたことを知らせることから、巡回乗合タクシーは「りんりんタクシー」と命名されました。

実験運行を開始して半年が経過した今年の5月、この間に得たノウハウをもとに、実験運行第2弾の取り組みが始まりました。運行ルートを3ルート(西・緑ルート、東ルート、南ルートで各7便)に増加し、運行日を変更(週3日及び、美鈴楽市の開催日の運行)し、さらに、利用料金の改定(再乗車の割引、こども料金の設定)も行いました。この取り組みにより、これまで1日平均30人程度であった「りんりんタクシー」の利用者が増えつつあります。

実験運行は、今年の9月30日で終了し、10月からは地区による本格運行に移行予定で、美鈴が丘まちづくり協議会では、今後も様々な取り組みを行うことにより、巡回乗合タクシーがより利便性の高いものになるよう地域の方々と一緒に育てていきたいと検討中です。

今後、団地内でますます高齢化が進んでいく中で、地域の高齢者などの移動手段の一つとしての巡回乗合タクシーの取り組みは大きな注目を集めています。



やさしさ発見プログラム事業

さまざまな人が「福祉」を学び、体験・共感することから、いろいろな「気づき」が生まれ「ほっとけん」気持ちを育み行動する…。やさしさ発見プログラム事業は、“誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり”を目指して行っています。社会福祉協議会では、講師謝礼金や車いす運搬代等を助成しており、学校だけでなく、地域、企業、団体等での実施も可能です。ご相談ください。

今回は、五日市観音西小学校4年生「知的障がいの理解学習」を紹介します。

協力:「ひろしま♡あび♡隊」



体験を経験した こどもたちの気づき

- 自分の思ったことがきちんと伝わらず、困りました。ジェスチャーや言葉を使えないことの難しさが分かりました。
- 体験することで障害をもった人の気持ちが少し分かりました。
- 自分の気持ちを相手に伝えることが大変でした。

心の病気の理解と
支援のための

ボランティア入門講座

～精神保健福祉ボランティア入門講座～

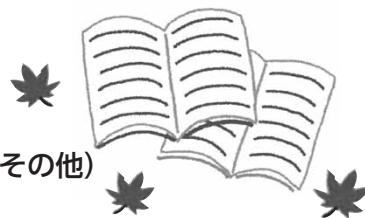
「こころの病気」について理解を深めるとともに、精神障がい者を取り巻く環境を知り、地域で互いに支え合っていくことを目的に開催します。

開催日時 10月4日(火)～10月25日(火) 全4回(時間帯は下表の通り)

開催場所 佐伯区地域福祉センター(佐伯区役所別館)5階

募集人数 30名(定員になり次第締め切ります) **参加費** 300円(テキスト代その他)

共 催: 広島市佐伯保健センター・広島市佐伯区社会福祉協議会



日 時	内 容	講 師
10月4日(火) 13:30～15:30	・オリエンテーション ・こころの病気の理解	保健センター職員 南区地域生活支援センターふれあい所長 原田葉子氏
10月11日(火) 13:30～15:30	・佐伯区内の精神障がい者の支援施設を知ろう ・精神障がい者との関わり方 ・先輩ボランティアに聞こう	支援センターあいる、中央・幸工房、ほほえみ、 地域生活支援センターいつかいち職員、 紙ふうせんメンバー 他
10月12日(水)～ 10月25日(火)AM	・当事者とのふれあい交流 ※実施日により時間が異なります	ソーシャルクラブ「それいゆ」他
10月25日(火) 12:30～15:30	・ランチサロン ・ボランティアって何? ・座談会 ボランティアグループ「紙ふうせん」	区社協職員 紙ふうせん

問い合わせ・申し込み先

広島市佐伯保健センター TEL:082-943-9733

佐伯区世界アルツハイマーデー記念講演会

日 時:平成28年9月8日(木) 13:30～15:30

場 所:佐伯区民文化センター ホール(佐伯区五日市中央6-1-10)

参加費:無料 申込み:不要

問い合わせ先 広島市佐伯区厚生部健康長寿課 (082)943-9728

内 容
I講演:佐伯歯科医師会
中林 浩樹 歯科医師
「お口の健康で認知症予防?!」
II寸劇と解説:認知症アドバイザー

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

今年も、10月1日から12月31日までの間、「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに、「赤い羽根共同募金」運動を実施します。「幸せ」と「豊かさ」をわかちあえる福祉の充実のために、広島市共同募金会佐伯区分会では、募金目標額11,101,000円の達成に向けて、努力をしております。区民のみなさまのご理解と一層のご協力をお願いいたします。なお、お寄せいただきました募金は地域福祉の充実のために、次のような活動に活用させていただきます。



- ・ふれあい配食訪問活動(まごころ弁当)
- ・地(学)区社会福祉協議会活動(支え合い活動、見守り活動等)
- ・佐伯区社会福祉協議会主催のさえき福祉・健康フェスタ…など

熊本地震災害義援金のお礼について

平成28年4月14日に発生しました熊本地震により被災された方々への支援を目的に、本会では義援金を募集してまいりましたが、平成28年7月末日現在、区民の皆様方から3,496,227円の多額の義援金をお寄せいただいています。皆様から温かいご協力・ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。この義援金は、義援金配分委員会を通じ、熊本・大分両県の被災者へ配分されますが、募集期間は平成29年3月31日までとなっておりますので、引き続きご支援の程、よろしくごお願い申し上げます。